

○学校保健の重要性に鑑み養護教諭配当基準を引下げられるよう要望する。

○学校医、学校歯科医の手当増額について

○学校医、学校歯科医の会を県として、組織運営の取りはこびをされ

ては如何

ほかに研究発表九件づつあった。分科会の成果、その他詳細については、本大会集録に掲載した。

三 学校保健研修会

日時 十一月～十二月各地区一日
場所 福島市、郡山市、会津若松市

四 学校保健(認定)講習会

平市、原町市

講義題

○学校保健活動の努力点

○教育における学校保健

—主に精神衛生について—

○児童生徒の健康観察

—子供に多い疾患について—

講師 福島大学教授 須藤春一氏

福島医科大学教授大原徳明氏

県立大野病院長 猪狩正雄氏

県立若松病院長 小島広吉氏

県保健体育課長 鈴木勝枝氏

受講人員 学校長、保健主事、養護教員約五〇名

日 時	場 所	授業科目	講 師	附与単位	受 講 対 象
昭和三十三年八月十六、十七、十八、十九日	会津若松市立立新小学校	衛生統計学	福島医科大学 教授 辻義人氏	公衆衛生学	養護教員、保健、保健体育、社会、保健、臨免又は仮免所有者
昭和三十三年一月四、五、六、七日	原町市立第二小学校	優等衛生学	右 同	右 同	右 同
昭和三十三年一月十一、十二、十三、十四、十五、十六日	郡山市立橋小学校	学校保健	福島医科大学 学部教授 須藤春一氏	学校保健	養護教員、保健、保健体育、社会、保健、臨免又は仮免所有者
昭和三十三年二月八、九、十五、十六日	郡山市立橋小学校	環境衛生学	福島医科大学 教授 辻義人氏	公衆衛生学	養護教員、保健、保健体育、社会、保健、臨免又は仮免所有者

計四単位 受講人員延四二〇名

第二節 児童生徒の健康を増進するための施策としてどのようなことを行ったか

児童生徒の体位は年々向上し、戦前の最高値を上回るようになり、結核、トラホーム、寄生虫罹患率は著るしく低下した。その反面、むし歯と近視はおどろく

べき増加率を示している。農業県である本県の特徴として、トラホーム、寄生虫罹患率は全国平均より高く、また平均体位は全国水準に及ばず、身長においてその差がはなはだしい。

学校における健康管理も学校差が著るしく、ことに中学校にその傾向が見られる。学校並びに地域社会における関心をたかめその向上を図るため左のような事業を行った。

一 きれいでよい歯のコンクール

表彰期日 六月四日
対象 県内小・中学校および小・中学校児童生徒

出張所ごとに地区予選を開催し、口腔衛生優良学校並びに優良児童生徒を選定し、さらに県審査会において書類審査、実地審査を行って県一、優良者を決定した。

- よい歯の子
- 安積郡富久山町立泉小学校 伊藤まり子
- 須賀川市立須賀川第一小学校 渡辺富定
- 石城郡四倉町立四倉小学校 大和田トシ子
- 南会津郡朝日村立朝日小学校 横山新吉
- 福島市立福島第一中学校 高野光子
- 郡山市立郡山第五中学校 伊藤房子
- 信夫郡飯坂町立湯野中学校 庄司勝利
- 双葉郡浪江町立刈野中学校 鈴木隆雄
- よい歯の学校

福島市立福島第一小学校
郡山市立郡山第三中学校
この行事は、口腔検診を早期に実施すること受検率を高めることに役立ったと思われる。

二 健康優良児童並びに学校表彰

全日本健康優良児童並びに優良学校の県予選を兼ね例年実施しているが、昭和三十三年度は新たに中学校および中学校生徒にも実施した。(※印は県代表として全日本健康優良審査会に推薦)

- 健康優良児童 五十嵐弥吉
- 伊達郡川俣町立川俣小学校
- 安積郡富久山町立行健小学校 高萩和男
- 会津若松市立謹教小学校 丸山 勉
- ※内郷市立内町小学校 我妻正邦
- 相馬郡小高町立小高小学校 古内義健
- ※郡山市立橋小学校 坂本順子
- 西白河郡中島村立滑津小学校 小針千代子
- 内郷市立高坂小学校 鈴木直枝
- 郡山市立赤木小学校 菱沼キエ
- 伊達郡保原町立保原小学校 遠藤律子
- 健康優良生徒 須田 淳
- 福島市立福島第三中学校 黒沢利雄
- 信夫郡信夫村立大森中学校 齋藤賢道
- 伊達郡桑折町立釀芳中学校 浦喜山邦夫
- 郡山市立郡山第四中学校 八槻梓
- 東白川郡棚倉町立近津中学校 江尻金機
- 平市立平第一中学校